

雪印種苗株式会社(Snow Brand Seed Co., Ltd.)

<http://www.snowseed.co.jp>

研究開発本部 北海道研究農場 入山義久
Yoshihisa.Iriyama@snowseed.co.jp



1. 育種および採種技術が蓄積された雪印種苗

昭和 25 年, 雪印乳業株式会社(旧北海道興農公社)の種苗部門が独立して誕生した雪印種苗は, 黒澤西蔵翁が提唱した「健土健民: 健全な土地が健全な食料をもたらし, 健全な食料が健全な人間を形成する」の思想を企業理念として日本の農業の発展に貢献してまいりました。育種および採種技術の蓄積は, 昭和 19 年の旧北海道興農公社時代の山野幌育種場(現北海道研究農場), 昭和 23 年の千葉農場(現千葉研究農場)の開設から始まりました。平成 12 年には, 世界最大級の種子生産地である米国オレゴン州に子会社である Snow Brand Seed USA, Inc. を設立し, 米国における採種圃場の厳重な管理, 最新の海外情報の収集を行っています。

2. 研究開発と連動した環境緑化事業

① スポーツターフ

雪印種苗は, ゴルフ場やサッカー場などのスポーツターフへの種苗供給と造成工事を長年行ってきました。平成 13 年からは, 2002 年 FIFA ワールドカップ開催に合わせ大分スタジアムの芝生再生業務を手掛け, 現在も芝生管理を受注し, 夏の猛暑と半閉鎖環境という過酷な条件のもと, 蓄積された管理技術が, 芝生の維持に生かされています。

また千葉県と共同で育種した耐病性ペントグラス「CY-2」は, 国産初の種子繁殖系ペントグラスとして国内各地のゴルフ場に導入され, 通年で安定したターフクオリティと優れた冬期緑度で高い評価を載せております。

② 法面緑化

外来牧草を用いた緑化を行う際は, 自然生態系への十分な配慮が必要となります。このため雪印種苗では, 矮性系統や

緑化現場周辺へ拡散しない系統など, 緑化現場のニーズに合わせた緑化材料の開発を進めております。

③ 自然復元や水辺環境修景などの環境保全

雪印種苗が得意とする育種と採種技術は, 外来生物法に対応できる地域性系統の国内種苗生産にも応用されています。平成 8~18 年に受託した富良野川砂防工事跡地の植生復元事業(写真-1)において, 現地自生種採種~育苗~導入という復元手法を確立したことをはじめ, 釧路湿原自然再生事業など様々な復元緑化の場面にこれらの技術が利用されています。

④ パークゴルフの普及

パークゴルフ(写真-2)は, 世代を超えて楽しめるコミュニティスポーツとして, 北海道幕別町で誕生しました。地域住民の交流, 消費拡大による経済効果, 適度な運動による健康増進や老人医療費の減少など, 多くの相乗効果が期待されており, 雪印種苗では都府県への普及を進めています。

⑤ その他

都市緑化や屋上緑化などの地球温暖化対策, 園芸療法など, 幅広い領域で, 環境緑化事業を展開しています。

表-1 会社概要と連絡先

会社名	雪印種苗株式会社
所在地	札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号
設立	昭和25年12月15日
代表者	代表取締役社長 掛村博之
資本金	46億4,334万円
事業内容	飼料作物, 野菜・花卉, 緑肥作物種苗の生産販売 緑化造園設計, 施工, 販売 配合飼料の製造販売
連絡先	TEL 011-891-5911(代表)



写真-1 富良野川植生復元事業



写真-2 パークゴルフ場